

平成 22 年 5 月 28 日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007 ～ 2009

課題番号：19520295

研究課題名（和文） 現代カンボジア文学の翻訳と研究

研究課題名（英文） A Study of Modern Cambodian Literature and Translation

研究代表者

岡田 知子（OKADA TOMOKO ）

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授

研究者番号：70292993

研究成果の概要（和文）：本研究ではカンボジアの現代文学作品を収集・翻訳した。カンボジアのプノンペンを中心に、20世紀初頭から現在に至るまでの現代文学作品（小説、およびエッセー）を収集し、翻訳権の取得できた作品は日本語への翻訳を行い、また作品をよりよく理解するための資料収集、作家へのインタビューを行った。同時に現地調査によりカンボジア国内での現代文学の動向を明らかにした。翻訳作品は、『現代カンボジア作家選』として紙媒体、電子媒体で公開した。

研究成果の概要（英文）：The goal of this study is to collect modern Cambodian literary works from the beginning of 20th century up to the present and translate into Japanese the works whose translation rights we could get. In addition, we collected some data and information concerning about modern Cambodian literary and interviewed some Cambodian writers in order to grasp the trend of the modern Cambodian literary. We published those works translated into Japanese as a book titled “Gendai Kanbojia Sakka-sen” and also opened them on the website.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	1,600,000	480,000	2,080,000
2008年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2009年度	700,000	210,000	910,000
年度			
年度			
総計	3,400,000	1,020,000	4,320,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・各国文学・文学論

キーワード：外国文学、カンボジア、翻訳

1. 研究開始当初の背景

四半世紀以上続いた内戦が終結したカン

ボジアが王国として再出発してから 10 数年が経ち、日本は、カンボジアの和平と復興のために協力を続け、現在でも援助の最大出資国となっている。政府レベルのみならず、NGO、また研究者によるさまざまな分野の学術的研究など日本人の活躍はめざましい。またカンボジアを訪れた日本人は外国人観光客数の中で常に首位を占めるなど、日本人がカンボジアを知る機会は年々増えていっている。

だがカンボジアの国語はカンボジア語であることから、カンボジア語によって書かれたものが海外はもちろん、日本に紹介されることは非常に少ない。カンボジアへの援助、学術的研究を行う上で必要となる、カンボジアの社会、文化、カンボジア人の考え方、価値観を知る上で非常に有用となる、カンボジアの現代文学について知る機会はほとんどない。カンボジアの現代文学に携わっている研究者は、カンボジア国内でもわずかであり、日本国内では本研究代表者と研究分担者を除いて皆無といってもよく、海外でもアメリカ、フランス、タイに数名いるだけである。それらの研究者の努力によって、現代文学作品は英語、フランス語に翻訳されたものが数点あるのみで、翻訳作品が発表されることもほとんどない。日本では、研究代表者（岡田）が、民間の財団助成を受けて翻訳出版したものと、研究分担者（上田）が、編訳、監修したものが、大学内予算で印刷されたものが数点あるのみである。

2. 研究の目的

本研究では、世界でも知られることの少ない、カンボジアの現代文学作品を収集し、日本語へ翻訳、発表する。また同時にカンボジア国内の現代文学の動向を明らかにする。

3. 研究の方法

実際の作品の収集にあたっては、個人の所蔵、作家、出版社、文学関連諸機関などを、王立プノンペン大学の文学研究者の協力を得ながら丁寧にまわった。

本研究で対象とする翻訳する作品に対しては著作権問題に充分留意し、作家や作家の遺族からの著作権に関する契約を結んだ。また翻訳にあたっては、カンボジアに対する全般的なかつ広範囲に及ぶ見識が必要になってくるが、英語やフランス語からの二重翻訳ではなく、カンボジアの文学作品の翻訳に経験のある研究代表者、および研究分担者がカンボジア語から直接翻訳、監修にあたった。また読者が作品をより深く理解できるよう配慮した。同時に現代文学をとりまく状況を把握するための資料収集、調査研究も行った。

4. 研究成果

カンボジアの現代文学作品を収集・翻訳した。カンボジアのプノンペンを中心に、20世紀初頭から現在に至るまでの現代文学作品（小説、およびエッセー）を収集し、翻訳権の取得できた作品は日本語への翻訳を行った。

3 回のプノンペンにおける調査を王立プノンペン大学文学研究者との協力により、カンボジア国内での現代文学の動向を明らかにした。また同時に作品をよりよく理解するための資料収集をした。出版社、文学関連諸機関、作家へのインタビューおよび意見交換を行った。

翻訳作品（短編小説 6 点、エッセー集 2 点）は、『現代カンボジア作家選』として紙媒体、電子媒体で公開した。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 5 件）

- ① 岡田知子、カンボジアの小説『萎れた花』の国語教材としての読まれ方、慶應義塾大学言語文化研究所紀要、査読無、第 41 号、2010、1-24、
- ② 上田広美、クメール語の動詞句における /baan/ について、慶應義塾大学言語文化研究所紀要、査読無、第 41 号、2010、147-162、
- ③ 岡田知子、カンボジア近代散文小説『ソパート』に見られる民族意識と近代的自我、慶應義塾大学言語文化研究所紀要、査読無、第 40 号、2009、1-23、
- ④ 上田広美、クメール語の指示詞について、慶應義塾大学言語文化研究所紀要、査読無、第 40 号、2009、161-178
- ⑤ 岡田知子、現代の婦女庭訓としてのカンボジア大衆小説—女性のアイデンティティと新しい価値体系の形成—、慶應義塾大学言語文化研究所紀要、査読無、第 39 号、2008、1-18、

〔学会発表〕（計 1 件）

- ① 岡田知子、東南アジア現代文学の眺望—作家、歴史、社会：「カンボジア—内戦終結後からの再出発」、東南アジア学会第 80 回研究大会、2008 年 11 月 30 日、東京大学（駒場キャンパス）

〔図書〕（計 1 件）

- ① 岡田知子、上田広美（編訳）、東京外国語大学カンボジア語研究室、現代カンボジア作家選、2010、215、

〔その他〕
ホームページ等

<http://www.tufs.ac.jp/common/fs/ase/cam/nh/index.html>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

岡田 知子 (OKADA TOMOKO)
東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授
研究者番号：70292993

(2) 研究分担者

上田 広美 (UEDA HIROMI)
東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授
研究者番号：60292992